

日本人間工学会 感性情報処理・官能評価部会講演会

& 首都大学東京 serBOTinQ

日時：2016年10月22日（土）15：30～17：30（受付：15：00～）

会場：首都大学東京秋葉原サテライトキャンパス会議室 A,B

〒101-0021 東京都千代田区外神田 1-18-13（秋葉原ダイビル 12 階）

http://www.tmu.ac.jp/university/campus_guide/access.html

講演：山下敏男 氏

（元首都大学東京教授、元日産デザイナー、

INTERROBANG DESIGN 株式会社代表取締役）

「デジタルリードデザインプロセスに関する研究」

講演：相野谷威雄 氏

（ヴィー・ディー・エス株式会社代表取締役、

首都大学東京首都大学東京サービスロボットインキュベーションHUB・Managing Director）

「感性に関わる性能とデザインの関係」

デザインとは意匠ではないといわれています。しかし、既存の設計プロセスでは、デザインが関与できる幅広い領域をデザインすることは難しいといえます。日産自動車フェアレディZのデザインを担当した山下敏男氏とともに、様々な領域を横断しながら設計した事例とともに、感性の何をデザインするべきなのかを議論します。

<<山下敏男先生の略歴>>

1968年、日産自動車にデザイナーとして入社。様々なカーデザイン・プロジェクトに携わり、代表作品には、フェアレディZ Z32、シルビア 240SX、スカイライン GT-R、インフィニティ G35 など、車本来の魅力を伝える数々の車種がある。2008年、首都大学東京インダストリアルアートコース教授、研究分野は、トランスポートデザイン、デザインプロセスなど。2015年、『INTERROBANGDESIGN 株式会社』設立。デザイン及びデザインコンサルティングなど幅広く活躍中。

<<相野谷威雄先生の略歴>>

武蔵野美術大学大学院造形研究科修士課程修了。武蔵野美術大学、首都大学東京にてデザインに関する教育に従事し、ブランドマネジメントからグラフィックデザイン、空間設計まで横断的にデザイン活動を行う。日本デザイン学会員、日本VR学会員、日本感性工学会員、日本芸術工学会員、JIDA 会員、東京都環境公社主催環境学習講座講師ほか。

<http://kogakuinhigh.doorblog.jp/archives/68281914.html>